



京都

労福協

No. 71
2022.1

一人は万人のために、万人は一人のために

謹賀新年

京都労働者福祉協議会

会長 廣岡 和晃



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

コロナ禍の中、京都労働者福祉協議会の運動推進に対しまして、日頃よりの絶大なるご支援に心より感謝申し上げます。

私たちは第65回定期総会にて、「連帯・共同で安心・共生の福祉社会をつくろう！」の大会スローガンを確認し、様々な社会問題に対する取り組みを進めて来ました。

世界中に広がる新型コロナウイルス感染症について2年が経過しました。ワクチン接種が進み、感染者数は減少していますが、未だ予断を許さない状況です。雇用も経済も生活すべてに多大な影響が出ており、感染症以前の姿に早期に戻れることを望みたいと思います。

コロナ禍により格差が増大する中、非正規雇用労働者や女性、学生やひとり親家庭、フリーランスや外国人労働者等社会的弱者に大きなしわ寄せがきており、

京都労働者福祉協議会として、更なる取り組みの強化が必要です。

若者を苦しめている奨学金返済問題では、国は給付型奨学金制度を創設し、京都府では「就労・奨学金返済一体型支援事業」を創設頂き、採用企業の拡大も進められています。労福協では、国への支援要請の署名活動や奨学金に関する電話相談を受ける取組も進めてきました。社会の構造的な問題であり、雇用や貧困問題と一体なものとして、息の長い取組が必要です。

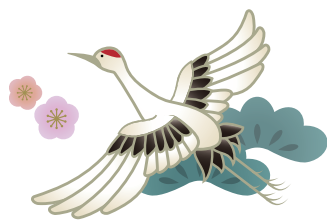
又、医療介護現場をはじめ、コロナ禍で安全安心の職場の確保は大きな社会問題であり、従来からの人的ボランティアに変え、教育機関や子供食堂等への手指消毒液等支援の取り組みも進めてきました。まだまだ支援が必要であり、地区労福協や関係団体と連携を図りながら活動を継続してまいります。

また労働者福祉事業と労働運動との連携強化について、改めて協同組合や労働者福祉事業の価値や役割を再確認するとともに、労働組合と協同組合が「ともに

運動する主体」としての関係を強化しつつ、共助の輪を地域に広げる活動も進めて行きます。

これまで様々な場面で会員組織の皆様のご支援の下、労働者福祉の向上・福祉事業団体の発展の一助となるよう取組を進めて来ました。「誰一人のこされない社会」の実現に向け、今後も更に力強く運動を展開してまいります。

結びに2022年が皆様にとって素晴らしい年でありますように、そして希望の新年になりますことを心からご祈念申し上げますとともに、本年も皆様のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げ年頭のご挨拶といたします。



役員

会長 廣岡 和晃
副会長 原 敏之
副会長 柳生 剛志
副会長 橋元 信一
副会長 岸本 満

事務局長 篠原 輝雄
理事 青山 勲
理事 川口 忠
理事 師玉憲治郎
理事 松山 裕二

理事 岡本 哲也
理事 中野 宏之
理事 坂田 政春
理事 福島 功
理事 市田 佳之

理事 高取 淳
理事 藤原 節夫
理事 小林 純
会計監査 佐伯 敏男
会計監査 伊藤 修平

会計監査 古谷 茂
監査(京都府) 鈴木 一弥
監査(京都市) 古川 真文

TOPIC 1 2021年度 京都労福協活動者会議 開催

10月28日（木）13時30分からANAクラウンプラザホテル京都において、加盟会員産別・各事業団体・各地区労福協より65名（会場参加41名、Web参加24名）の参加をいただき、コロナ過の中、初の試みとしてWebを活用したハイブリット形式での2021年度京都労福協活動者会議を開催いたしました。

初のハイブリット開催でもあり、不慣れなためご迷惑をおかけしましたが、多くの皆様のご参加をいただき感謝申し上げます。



近畿労金 中須氏



こくみん共済coop全労済 飯田氏

まず、講演に先立ち事業団体報告として、近畿労働金庫営業推進部地域共生推進室上席専任役 中須雅治様は「近畿ろうきんの地域との共生活動」について、こくみん共済coop〈全労済〉京都推進本部次長 飯田淳一様からは、「こくみん共済coopが進めるこれからの

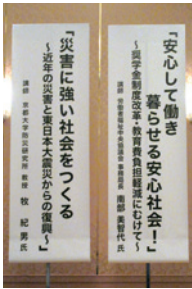
防災・減災プロジェクト」についてご報告をいただきました。

会議では二つの講演を企画し、本年度につきましては、「自然災害への挑戦!」、「働き暮らせる安心社会!」をテーマとして、防災・減災・復興や貧困・奨学金問題など、ご講演いただきました。



中央労福協 事務局長 南部氏

一つ目の講演として、労働者福祉中央協議会（中央労福協）より事務局長 南部美智代様をお招きして、「安心して働き暮らせる安心社会! ～奨学金制度改善・教育費負担軽減にむけて～」と題し、コロナ禍の中、さらに拡大した社会的課題でもあります、少子化・貧困・生活困窮や奨学金問題等について、中央労福協の取り組みを交え、今私たちができることは、何をすべきなのかについて、その方向性をお示しいただきました。



京都大学防災研究所 教授 牧氏

二つ目の講演では、京都大学防災研究所教授 牧紀男様をお招きし、「災害に強い社会をつくる! ～近年の災害と東日本大震災からの復興～」と題し、近年の気候変動の特徴的な点、大規模地震発生周期や復興へのまちづくりの考え方等を踏まえ、京都周辺地域の防災・減災・復興のあり方について、貴重なお話を頂戴しました。

ご講演いただきました、中央労福協事務局長 南部美智代様、京都大学防災研究所教授 牧紀男様をはじめご参加いただきました各会員の皆様に改めて御礼申し上げます。



TOPIC 2 令和4年度 自治体要請行動 実施

○京都府要請

11月4日（木）職員会館かもがわ3階大目的室に於て、連合京都、京都総評、近畿労働金庫、こくみん共済coop〈全労済〉、（公財）京都労働者総合会館、（公社）京都勤労者学園の代表者にご参加いただき、令和4年度要請書を京都府に提出しました。京都府からは、商工労働観光部 企画調整理事兼副部長 河島幸一様、商工労働観光部 労働政策課課長 青山隆夫様、商工労働観光部 労働政策課 課長補佐兼係長 安井美幸様をはじめとする方々にご出席いただき、京都労福協・各事業団体より要請の趣旨説明を行い、京都府の考え方について説明を受けました。



京都府商工労働観光部 企画調整理事兼副部長 河島氏へ

○京都市要請

11月4日（木）職員会館かもがわ3階大目的室に於て、連合京都、京都総評、近畿労働金庫、こくみん共済coop〈全労済〉、（公財）京都労働者総合会館、（公社）京都勤労者学園、南地区労福協、伏見地区労福協の代表者にご参加いただき、令和4年度要請書を京都市に提出しました。京都市からは、文化市民局長 古川真文様、文化市民局 共生社会推進室 真のワーク・ライフ・バランス推進・働き方改革担当部長 北條昌代様をはじめとする方々にご出席いただき、京都労福協・各事業団体より要請の趣旨説明の後、京都市の考え方について説明を受けました。



京都市文化市民局長 古川氏へ

○中丹地域要請

11月1日（月）10：00～
綾部市市民センター
対象自治体：舞鶴市・綾部市・福知山市

○南山城地域要請

11月1日（月）15：00～
宇治市産業会館
対象自治体：宇治市・城陽市・八幡市・京田辺市・木津川市・宇治田原町・久御山町・井手町・精華町・和束町・笠置町・南山城村

○乙訓地域要請

11月17日（水）10：00～
近畿労金長岡支店
対象自治体：長岡京市・向日市・大山崎町

○口丹地域要請

11月22日（月）10：00～
近畿労金亀岡支店
対象自治体：亀岡市・南丹市・京丹波町

○丹後・宮津地域要請

11月25日（木）14：00～
与謝野町 生涯学習センター知遊館
対象自治体：宮津市・京丹後市・与謝野町・伊根町

TOPIC 3 各地域自治体懇談会 開催

中丹地域

2021年11月1日（月）10：00から、綾部市市民センターにおいて、「中丹三地区自治体懇談会」を開催しました。

綾部・福知山・舞鶴各地区労福協役員と各自治体関係者のご出席のもと、会議を実施。今年度当番の綾部地区労福協事務局長が進行役を務め開始しました。

開会の挨拶（京都労働者福祉協議会 事務局長 篠原輝雄氏）後、自治体代表（京都府中丹広域振興局 農林商工部農商工連携・推進課参事 山口悟様）のご挨拶の後、出席者の自己紹介を行い、各地区労福協・京都労福協及び事業団体から自治体に関する要請行動を行った後、意見交換を行い12：00に閉会しました。



南山城地域

2021年11月1日（月）15：00より、宇治市産業会館において、令和4年に向けての南山城地区労働者福祉協議会の自治体懇談会を開催しました。

当日は、京都府より山城広域振興局、商工労働観光部、宇治市、城陽市、久御山町、和束町のご担当者様、京都労働者福祉協議会・篠原事務局長、近畿労働金庫宇治支店・山本支店長、こくみん共済coop南部推進課・柴田課長に出席をいただきました。

懇談会の冒頭、山本会長から挨拶の後、山城広域振興局の富山参事より京都府内のコロナ禍での各事業者の様子や「子育て環境日本一」山城地域サミット開催などについて挨拶がありました。

南山城労福協からは近年の頻発する豪雨災害などへの備え、自治体とのネットワーク強化による協力について、また南山城労協独自の社会貢献活動や勤労者の自主福祉運動の支援について要請を行ないました。また、京都労福協からは地方自治体におけるSDGs推進と持続可能な地域づくりに向けての就労創出の促進・支援について、大規模災害への防災・減災対策の強化、また格差・貧困社会の是正、セーフティーネットの強化など、府内に共通する課題についての要請、各事業団体からも勤労者・生活者の福祉に対する取り組みへの理解と支援について要請を行ないました。その後、出席者からの要請に対する質問や意見交換が行われました。



乙訓地域

2021年11月17日（水）近畿労働金庫長岡支店会議室において、乙訓地区「自治体・労福協懇談会」を開催いたしました。京都労福協・労働金庫・こくみん共済coopの代表者にご参加をいただき、令和4年度要請書を長岡京市・向日市・大山崎町へ提出しました。

京都府から山城振興局乙訓地域総務防災課長 吉田様、商工労働観光部 人材確保・労働政策課主事 木暮様、長岡京市からは健康福祉部社会福祉課長 田畑様、向日市からは市民サービス部地域福祉課 紺野様、大山崎町からは環境事業部経済環境課長 沖様にご出席いただき、自治体代表者の方々に対し、乙訓地区労福協の小林会長と京都労福協の篠原事務局長から要請書の趣旨説明を行い、その後、それぞれの自治体より要請内容の受け止めについて説明を受け、意見交換を行いました。

口丹地域

口丹地区労働者福祉協議会は、2021年11月22日(月)10：00から近畿労働金庫亀岡支店2階会議室において、『令和4年度政策制度要請』を開催しました。侯野会長の挨拶で開会が宣言され、亀岡市、南丹市、京丹波町の2市1町の代表が集まり令和4年度の政策制度要請を実施しました。口丹労福協、京都労福協、こくみん共済coop、近畿労働金庫京都地区本部の団体より要請書として各市町に提出をしました。

口丹労福協としては勤労者の働く環境の整備、子育て支援の充実、高齢者介護の負担軽減、自主福祉団体強化に向けた支援の4項目について説明を実施し意見交換ができました。



丹後・宮津地域

11月25日（木）、与謝野町・知遊館において丹後・宮津地区自治体懇談会を開催しました。京都府丹後広域振興局、京丹後市、宮津市、与謝野町、伊根町の担当者、京都労福協・篠原事務局長、近畿労働金庫宮津出張所・池田所長、こくみん共済coop・坂内課長に出席いただきました。

丹後・宮津労福協から、地域での雇用の場の確保や労働環境の整備、民間・公務で働く非正規労働者の処遇改善、障がい者福祉・高齢化福祉の充実、救急医療体制の整備、災害に強いまちづくり、奨学金問題への対策、地域循環型経済への支援などについて要請、京都労福協からは府内で共通する課題について要請、事業団体からもそれぞれ要望を行い、行政課から要請事項に対する回答をいただいた後、地域の課題について懇談を行い、有意義な懇談会となりました。



京都労福協

■9月21日（火） 京都市「手指消毒液（アルコールクリーン80）」240ℓ

京都市「手指消毒液（アルコールクリーン80）」寄付受納式

令和3年9月21日（火）京都市役所「正庁の間」において、市内8カ所の総合支援学校での「新型コロナウイルス感染症」予防対策支援として、京都労福協廣岡会長より門川京都市長にたいし、「手指消毒液（アルコールクリーン80）」240ℓを寄贈しました。

京都市からは、門川大作京都市長、稲田新吾教育長が出席され、京都労福協からは廣岡和晃会長、篠原輝雄事務局長が出席し、廣岡会長より門川市長へ目録を手渡しました。

門川市長は「総合支援学校では、基礎疾患のある子ども達も多く、衛生面は特に気をつけなければならない。ご支援に感謝しコロナ過での安心・安全に役立ててまいりたい。」と感謝の言葉を述べられ、廣岡会長に感謝状が贈られました。

また、京都市より、京都市自治記念日に際して、京都労福協の支援にたいして、「新型コロナウイルス感染症対策支え合い特別表彰」をいただきました。



京都市門川大作市長へ目録を手渡し 感謝状を授与される
(左より、稲田教育長、門川市長、廣岡会長、篠原事務局長)

京都労福協

■10月26日（火） 京都府「手指消毒液（アルコールクリーン80）」480ℓ

京都府「手指消毒液（アルコールクリーン80）」感謝状贈呈式

令和3年10月26日（火）京都府庁部局長会議室において、府内の「子ども食堂」や「ひとり親家庭の子どもの居場所づくり事業」実施施設への「新型コロナウイルス感染症」予防対策支援として、廣岡会長より西脇知事にたいし「手指消毒液（アルコールクリーン80）」480ℓを寄贈しました。

京都府からは、西脇隆俊知事、鈴木企画理事兼商工労働観光部長、河島企画調整理事兼副部長が出席され、京都労福協からは、廣岡和晃会長、篠原輝雄事務局長が出席し、廣岡会長より西脇知事へ目録を手渡しました。

西脇知事は「今、コロナ過により、子どもの居場所づくりの現場でも安全対策に苦慮されており、今回ご寄付いただきました消毒液を、子ども食堂48カ所、居場所づくり事業30カ所で活用させていただき子ども達の安心・安全に役立てさせていただきます。」と感謝の言葉を述べられ、廣岡会長に感謝状が贈られました。



京都府西脇隆俊知事へ目録を手渡し



京都府西脇隆俊知事より感謝状を授与される

丹後地区労働者福祉協議会

■11月18日（木） 京丹後市「手指消毒液（アルコールクリーン80）」102ℓ

京丹後市「手指消毒液（アルコールクリーン80）」寄付受納式

11月18日（木）に糸井会長・吉岡事務局長の2名にて、京丹後市役所を訪れ中山市長（代理で健康長寿福祉部小谷部長）に、アルコール消毒液（102ℓ）を寄贈しました。

新型コロナ感染症対策に利用していただくため、寄附の指定先としては、京丹後市自立支援協議会（障害のある方のために）としました。

障害者の中には、障害者年金だけで生活している人も多くおり、コロナ対策経費が生活を圧迫している。消毒用のアルコールなど支給してもらえると助かるとのことで、今回は障害のある方に対し支援を行いました。

また、今回はアルコール消毒液を提供しましたが、今後さらに必要な物資があれば、労福協としてできる範囲で支援をしていきたいと思います。



京丹後市役所 健康長寿福祉部
小谷部長へ目録を手渡し

（一財）舞鶴勤労者福祉協議会

【旧舞鶴市民病院南棟及び東棟 自衛消防訓練】

（一財）舞鶴勤労者福祉協議会では舞鶴市勤労者福祉センターとシルバー人材センター共同で自衛消防訓練を2021年7月20日（火）14：30～15：30旧舞鶴市民病院南棟及び東棟対象に実施しました。

当日は、現在開設中の夏休み児童クラブに来ている子ども達も参加してもらいました。

実施にあたっては、熱中症予防対策（テントや冷風機を使用）及び新型コロナウイルス感染防止対策を充分に図りながら、行いました。

今回は1Fサロンより出火を想定して館内放送後、福祉センター利用者は外側非常階段より、駐車場へ全員避難を確認後、舞鶴東消防署の職員さんにもご協力いただきわかりやすく消火器の使い方など説明を受け、その後実際に水消火器を使用して訓練を行い、1時間弱の訓練でしたが、子ども達も楽しく出来たようでした。



【社会福祉活動（児童養護施設等の子ども達に食事招待）】

（一財）舞鶴勤労者福祉協議会では社会貢献活動「食を通した健全な青少年の育成を目的とした事業」としてレストランへ招待をしていましたが、現在のコロナ禍での外食は不可能な為にテイクアウト体験を企画しました。

2021年8月18日（水）の夕食を社会福祉法人「舞鶴学園」に提供、この日は各自が好きなものを選び注文して食べてもらうため、市内のゆき弁工房さん協力により、当日に代表者がテイクアウトして、施設内でそれぞれが思い思いの弁当を食し、今後の生活に参考としてもらうことを目的に実施しました。

後日、担当の高宮さんより「先日は子ども達の為に弁当をご提供いただき、ありがとうございました。どの弁当もおいしく、子ども達も喜んでいました。やはり唐揚げが人気のようで、数あるおかずの中でもチキン南蛮が一番人気でした。お弁当を注文して食べるといった経験もありなかったので、貴重な経験となりました。本当にありがとうございました。」と報告がありました。



【囲碁・将棋サロン】

2021年度も昨年に引き続き4月より毎月第一月曜日（祝日等の場合は翌週）に、勤労者福祉センター和室を午後には開放「囲碁・将棋サロン」を開設しました。参加者がほぼ同じメンバーになり、毎回囲碁・将棋共に3組程度（12人）の方がそれぞれ相手を探して対戦されています。平日の為現役の勤労者は時々参加されますが、毎回OBの方々が楽しみにされています。

【楽々ヒーリングヨーガサロン】

今年度は「コロナ時代だからこそ、免疫力UP・代謝力UP・深くゆったりとした呼吸力UP・ほぐす・ほどける身体と心の為」の楽で楽しいヒーリングヨーガサロンを開設しました。

勤労者も参加しやすい毎月第1日曜日（1月は第2日曜日）の9：30～11：00にヨーガ講師（大槻先生）の指導の下、定員20人にて企画しました。第1回目は11月7日に開催したところ、会館利用開始時間の9時には参加希望者が集まり定員になり次第締め切り予定も、初回の為急遽会場を和室からホールに変更し開始しました。結果定員オーバーになり30人の方が参加されました。

当初予定では、講師の希望とコロナ禍で制限を考えていましたが、思わぬ反響に驚かされました。参加者からは、よい体験ができたと好評で、定員になり次第締め切られると「せっかく楽しみに来たのに…」との声があり、次回からも状況に応じ多少の融通を利かしていきたいと思っています。



【第5回 健康講座】

今年も11月27日（土）14：00～勤労者福祉センターにおいて、理学療法士の伊藤清弘先生をお迎えした恒例の「健康講座」を開催しました。

この企画も5回目となり、今年のテーマは「コロナ時代のけんこう体操～室内で楽しく身体を動かしましょう～」にて行われました。募集定員30人限定のところ、直前に欠席された方もあり当日は希望者25人の方が参加されました。

前半は「身体（骨と筋肉）と姿勢と呼吸のイメージ作りをしましょう」の講義を受け、後半は実際に身体を動かして「健康体操をSKYにやりましょう」の指導を受けました。終了後も希望者に対して個別指導もしていただき、参加者一同程よいリハビリと参考になったことと思います。



南山城地区労働者福祉協議会

南山城地区労福協 第26回チャリティーゴルフ大会

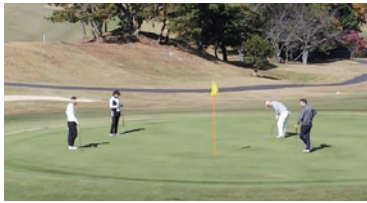
去る10月27日（水）、南山城地区労福協 第26回チャリティーゴルフ大会がデイリー信楽カントリー倶楽部に開催されました。

当日は10月末にもかかわらず、汗ばむほどの陽気のなか、絶好のゴルフ日和となりました。参加者は6組18名と新型コロナウイルスの影響により、例年の約半数のとなりましたが、ケガなくプレーを楽しみ、親睦を深めることができました。

この大会は参加者からチャリティー募金をいただき、南山城地域5市6町1村のいずれかの社会福祉協議会へ寄付をさせていただいており、今年度は27,000円の募金をいただく事ができました。集まった募金については第1回幹事会に於いて、寄付先などについての検討を行う予定となっております。

当初、9月15日開催での準備を行っていましたが、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言により延期となつての開催となりました。宣言解除後の様子が不明のため、参加者も少なくはなりましたが、無事に開催する事ができ、今後のイベント開催についても明るい兆しが見られた大会となりました。

なお、感染拡大の防止として、プレー後の懇親会などについては、控えさせていただきました。優勝者はパナソニックデバイス日東労働組合の土合 善明さんとなり、その他にもニアピン賞やドラコン賞など各賞についても、後日商品の送付をもってかえさせていただきました。



丹後地区労働者福祉協議会

社会貢献活動「丹後大学駅伝ボランティア活動」

11月20日（土）の午前、丹後地区労福協では、社会貢献活動の一環として、丹後大学駅伝（第83回関西学生対校駅伝競走大会）の交通整理員のボランティアに4人が参加しました。

当該駅伝大会は、関西の大学22校の選手が、久美浜町を7時45分に出発し、8区間を競って走るもので、宮津市に12時過ぎにゴールしました。

網野地区のボランティアは、7時20分に網野庁舎に集合し、

説明を受けてから指定された場所へ赴き、交通整理を行い、それを終えて市民局に結果を報告するもので、9時半頃に全てを終了しました。ボランティアの任務は、主催者が指定した場所で選手が通過する間、付近の交通を遮断・整理するものでした。

天候は良く、少し風が強い日ではありましたが、滞りなくボランティア活動を終えました。



乙訓地区労働者福祉協議会

資産運用セミナー「人生100年時代に向けた資産運用」

11月21日（日）長岡京市中央生涯学習センターにおいて、乙訓地区労働者福祉協議会と近畿ろうきん長岡支店推進委員会の共催で三菱UFJ国際投信（株）シニアマネージャー若林千恵様を講師に迎えて、「人生100年時代に向けた資産運用」というテーマで資産運用セミナーを開催しました。セミナーは午前と午後

の2回開催し、乙訓地域で働く皆さん42名が参加されました。講師の若林様からは資産運用の必要性、投資信託の活用、NISA・iDeCoといった税制優遇制度を活用した賢い資産形成が大切であること等のお話がありました。参加者の皆さんはご自身の資産形成に役立つようと熱心に聞き入っておられました。



綾部勤労者福祉協議会

勤労者セミナー「メンタルヘルス講座」

11月26日（金）18時から19時45分まで、勤労者セミナーを綾部市市民センター研修室にて開催しました。計画段階ではコロナ禍の中でのセミナーになるのではと危惧しておりましたが、緊急事態宣言も明けており当日は37名の参加。三回連続お世話になります武田由利子様を講師に迎え、メンタルヘルス講座『「対人関係のストレスを減らす〜他者とうまく関係をつくるための「話し方」「聴き方」』についてご講演いただきました。

新入社員・後輩社員を事例に、悩みの「聴き方」や「話し方」について、相談者からの話の途中で判断せず、相手の感情を理



解し対応する。ペアーを組んでワークも取り入れながらの講義で、皆さん楽しく学習できました。

セミナー参加者の中には、職場で新人や後輩を指導する立場の方も受講されており、終了後先生に個人的に質問される姿も見受けられ、大変熱心に受講されていました。

先生にお伺いすると、企業側へのご講演が多く、労働組合へのご講演は少ないとのこと。このセミナーは、企業側管理職へも聴いて欲しいとのことでした。今後この学習が生かされ、職場で実践できれば人間関係が今以上にうまくいくのではないのでしょうか。

参加者からは、「次回も武田先生のセミナーを受講したい」など、昨年同様大変好評をいただき、終えることが出来ました。

とした雰囲気の中ラウンドは進みました。残念なことにコロナ対策で表彰式は行えませんでした。皆さんそれぞれにプレーと交流を楽しんでいただけでした。

チャリティーで集めた資金は社会福祉協議会に寄付します。今後も南労福協では、加盟組織構成員と地域の福祉を向上させるべく、活動に取り組んでまいります。



南地区労働者福祉協議会

南地区労福協 チャリティーゴルフ大会

11月30日（火）、比良ゴルフ倶楽部にてチャリティーゴルフ大会を開催しました。昨年はコロナ禍で中止したため2年ぶりの開催となりましたが、当日は参加者全員意気軒昂、意欲的にプレーに臨みました。

今回はじめてラウンドに参加される方もあり、和気あいあい

福知山・綾部・口丹地区 事業団体合同学習会

11月13日（土）午後に、京都府立中丹勤労者福祉会館に於きまして、初めての取り組みである事業団体学習会を、福知山・綾部・口丹の三地区労福協合同で開催をしました。

今回は福知山にて行い、各行事が重なる日程となりましたが、各地区から約30名の参加をいただきました。

学習会共通のテーマ「命と生活を守る自主福祉活動」として実施しました。

まず近畿労働金庫福知山支店の中西支店長から、労金運動、特に生活応援運動について、次にこくみん共済coop北部推進課の坂内課長からは、防災・減災の取り組みについて、それぞれ資料や動画を交えながらお話をいただきました。

出席者には、多くの学びや気づきが得られたことと思います。今後は、各組合や職場に持ち帰っていただき、運動を広げていただくことをお互い確認し、閉会となりました。



全国一斉「奨学金に関する電話相談」周知街頭活動

■11月9日（火）12：00～ 奨学金に関する全国一斉相談周知ビラ2,000枚配布
■11月10日（水）12：00～

11月9日（火）四条河原町、10日（水）四条烏丸周辺で、全国一斉「奨学金に関する電話相談」の街頭宣伝活動に取り組みました。両日とも、正午から1時間ビラ撒きを行い、2,000枚の宣伝ビラを手渡しできました。京都労福協の会長・副会長・理事をはじめ、多くの会員組織、京都市からのご協力（23名）をいただき感謝します。コロナ禍の影響で多くの給付が行われていますが、勤労世帯の教育費に対する給付はそう多くはありません。また、学校を卒業後の就職状況についても、課題があるようです。教育費に対する支援を強化する今回の労福協の取り組みが、子育てを担っている世帯のゆとりある生活改善に繋がっていくことを期待します。



2021年度 奨学金に関する全国一斉相談

「奨学金に関する全国一斉相談」は、今年で4年目を迎えました。この4年間の奨学金相談活動を通して気づいたことがあります。それは教育費が、家計に重い負担になっていることでした。文部科学省の「子供の学習費調査」（2018年度）と、高等教育の費用を集計した日本政策金融公庫の「教育費負担の実態調査」（2020年度）をみると、勤労者世帯で教育費の占める割合はかなり高いことが想像できます。そしてこの高額な教育費を払う理由は、子どもの将来を考え、かなり無理をして教育費を捻出する親心にあると思いました。学歴社会の厳しい現実を感じています。

この間中央労福協は、奨学金の相談に対応する一方で、「奨学金や教育費の負担を軽減する取り組み」を続けてきました。具体的には、奨学金返済者や保護者の教育費の負担を軽減する税制支援（減税）の実現をめざす運動を展開しています。詳しくは、中央労福協ウェブサイトを参照してください。皆さんのご理解と、ご協力をお願いします。

さて、今年の相談は平日だったこともあり、親からの相談ばかりでした。長男が滞納し、親が返済しているケースでは、「他の家庭では、『親はどのくらい返済しているのか』知りたい」という話をされました。また、他のケースでは「長男だけの収入では、一家4名の生活ができない。奨学金は息子が15,000円、親が28,000円を返済し続けている。利息が高いので何とかしたい」など、奨学金をしっかりと返済したくても、本人一人では苦慮する状況が増えているのかと思いました。

（きょうとライフサポートセンター 所長：西澤 弘）



左：京都総評 岩井史彦 相談員
右：こくみん共済coop全労済 白石マリ子 相談員



秋の健康ウォーキング「洛西竹林浴散策コース」

11月28日（日）秋の健康ウォーキングを開催しました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、残念ながら中止を余儀なくされました。秋の健康ウォーキングですが、今年はコロナ禍も落ち着きつつある時期でもあり、無事に開催する事が出来ました。

今回は、28名のご参加を頂き、「洛西竹林浴散策コース」として、洛西総合庁舎前から竹林公園、桓武天皇皇后御陵をまわり竹林公園、福西公園をへて洛西総合庁舎裏の京都エミナースまでの約5.8kmを歩きました。

当日は、前日の雨も上がり、少し肌寒くはありましたが、秋晴れに恵まれスタートしました。参加者にはOBの皆さんや、ご夫婦連れ、小さなお子様もおられましたが、竹林の道を心地よい日差しが差し込むなか、寺戸大塚古墳や古墳垣・寺戸垣などいろいろな竹垣を見学されながら歩かれました。途中、桓武天皇皇后御陵付近では、急勾配の下り、登り坂があり息を切ら

せて頑張る皆さん。竹林公園内で休憩をとり資料館やお庭を見学し楽しんでいただいたあと、福西公園をへて京都エミナース前まで無事帰り着き解散となりました。

ご参加いただきました皆様、ご協力いただきました各団体の方々に感謝を申し上げます。また、来年度も楽しい散策コースをご用意し、多くの皆様のご参加をお待ちしております。



近畿ろうきんのキャッシュカードは、 全国のATMで使えて便利！

しかも、土曜・日曜・祝日はもちろん、
時間外手数料が必要な時間帯であっても、
ATMお引出し手数料は
返ってきます。

実質無料



お引出し手数料実質無料のATM

- 提携先金融機関（都銀、信託銀、地銀、第二地銀、信金、信組、JAなど）
- ゆうちょ銀行 ● セブン銀行

お引出し手数料不要のATM

- 全国のろうきん ● イオン銀行 ● ローソン銀行
- コンビニ（ファミリーマートなど）

※ 振込手数料は、本サービスの対象外です。

近畿ろうきん京都地区本部 TEL 075-801-7317

お問い合わせ（月曜～金曜 9:00～17:00）

（祝日、12月31日～1月3日は除く）

「220531」194-2021-009

こくみん共済 NEWS
2721W001

公式キャラクター
ビットくん

「たすけあいの輪をむすぶ」
こくみん共済 coop は、次のステージへ

こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会

たすけあいの輪をむすぶ

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

こくみん共済 coop 〈全労済〉 京都推進本部
（全京都労働者共済生活協同組合）
HP: <https://www.zenrosai.coop/>

Web申込 & コンビニ支払 OK!

働くうえで役に立つ知識・技能と教養を
身につける総合学習施設

ラボール学園
(公益社団法人 京都労働者学園)

ラボール京都3F 電話 075-801-5925

ラボール学園 検索

西院駅徒歩1分

大ホールと中小会議室
全12室

お気軽にご利用ください。

ラボール京都

公益財団法人
京都労働者総合会館
〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30-2(四条御前)

TEL 075-801-5311
<http://laborkyoto.jp/>

事務機器・車リース・旅行のことなら

ユニオンラベル京都
エル・ユニオン京都

京都府知事登録 第3-554号
全国旅行業協会（ANTA会員）

事務所所在地はラボール京都6階
（京都労福協内）

TEL 075-801-1501 FAX 075-802-4568
ホームページ <http://uniontravel.jp>
メールアドレス info@uniontravel.jp

京都の生協の連合体が京都府生協連です

誰もが安心してくらせる
地域・社会をめざして

京都府生活協同組合連合会

〒604-0857 京都市中京区烏丸通二条上る 蔭絵屋町258番地
コープ御所南ビル4階
TEL.075-251-1551